

土壌診断結果の見方

土壌診断結果

受付日: _____ 圃場名 普通畑 面積 680 (低い) 発行日 _____

氏名 _____ 土壤型 低地土 CEC 18 (中程度) 担当者 _____

住所 _____ 作物名 秋まき小麦 土性 壤土 腐植 3 % (含む) 分析者 _____

圃場No. _____

基本分析	分析値	基準値	グラフ
pH _(H₂O)	5.1	[5.5 - 6.5]	
EC(mS/cm)	0.06	[]	
石灰(mg/100g)	119	[170 - 350]	
苦土(mg/100g)	13	[25 - 45]	
カリ(mg/100g)	16	[15 - 30]	
リン酸(mg/100g)	31	[10 - 30]	

養分バランス	分析値	基準値	グラフ
石灰飽和度(%)	24	[40 - 60]	
苦土飽和度(%)	3.7	[]	
カリ飽和度(%)	1.9	[]	
塩基飽和度(%)	29	[60 - 80]	
石灰・苦土比	6.3	[< 6]	
苦土・カリ比	2.0	[2 <]	

特別分析	分析値	基準値	グラフ
銅 (ppm)	7.8	[0.7 - 8.0]	
亜鉛 (ppm)	4.4	[2 - 40]	
マンガン (ppm)	25	[50 - 500]	
ホウ素 (ppm)	0.5	[0.5 - 1.0]	
熱水抽出性窒素(mg/100g)	7.5	[]	

* 基準値は施肥前の値になっています。

土壌改良資材	成分	施肥標準 (kg/10a)	施肥対応後 (kg/10a)
石灰資材 目標pH 6.0	基肥	4.0	4.0
	分施	10.0	10.0
炭カル ... 230 kg/10a(深さ10cm)	リン酸	12.0	9.6
	カリ	9.0	9.0
ピクトリー ... 127 kg/10a(深さ10cm)	基肥	3.0	3.9
	分施	-	-

施肥対応

小麦のpHは基準値領域内の中間がよいでしょう。
 pH...低いので、石灰資材の施用をお勧めします。
 苦土は不足...多めに施肥の方がよいでしょう。
 リン酸...作土中に充分含まれています。
 マンガンは不足...微量元素肥料の施肥をお勧めします。
 *マンガンの欠乏症...新葉の葉脈間が黄化する。

◆◆留意事項◆◆

窒素は基肥として4kg/10a程度を播種時に、4kg/10a程度を止葉期に、残りを起生期から幼穂形成期に施用する。ただし泥炭土で適期播種の場合は基肥は2kg/10aとする。

◆ゆめちからの窒素施肥量◆
 道央地帯では19kg/10a、道北地帯では22kg/10a、道東地帯では18kg/10aとする。

◆つるさち・キタノカオリの窒素施肥量◆
 道央・道北地帯では19kg/10a、道東地帯では20kg/10aとする。

株式会社丹波屋 常務取締役 肥料部長 豊嶋博美



pH
 溶液中の水素イオン濃度[H⁺]を表します。濃度が高くなるほど、pHの値は低くなります。

EC
 電気がどのくらい流れるかを表した値です。塩類濃度の指標となります。ECは通常、硝酸態窒素が多いと、高くなる傾向にあります。

リン吸
 土壌がリン酸を固定して、不溶性リン酸にする力です。高いほど、リン酸を固定しやすい土になります。

CEC
 保肥力、つまり施肥した肥料を蓄える力です。値が高いほど、保肥力が高いといえます。

石灰、苦土、カリ
 土壌に含まれる石灰・苦土・カリの量です。交換性塩基ともよばれ、土壌中でpHを下げる原因である[H⁺]と交換されます。

リン酸
 土壌に含まれるリン酸のうち、作物が吸収利用可能な有効態リン酸の量です。

石灰、苦土、カリ、塩基飽和度
 CECに対して、どれだけ交換性塩基(石灰、苦土、カリ、その和)で満たされているかを割合(%)で表したものです。

石灰・苦土比、苦土・カリ比
 土壌中の交換性石灰と交換性苦土、交換性苦土と交換性カリのバランスです。

銅、亜鉛、マンガン、ホウ素
 土壌に含まれる各種微量元素の量です。

熱水抽出性窒素
 土壌に含まれる窒素量です。露地では熱水抽出性窒素を、施設では硝酸態窒素を測定します。

コメント欄
 分析結果に基づいて、バランスの良い土にするための対応策です。

腐植
 広い意味で土の中の有機物の量を表します。値が高いほど、有機物が多く、物理性や保肥力を良くします。

施肥対応量
 土壌分析の値に基づき、施肥対応をした後の値です。「北海道施肥ガイド2015」に基づいています。

施肥標準量
 各作物の年間施肥量または基肥量です。「北海道施肥ガイド2015」に基づいています。

土壌改良資材欄
 分析結果から、値を適正にするために必要な土壌改良資材の量を計算したものです。